

シリーズ第7話

本当のところ、 タミフルってどうなの？



新城市民病院 小児科
部長医師 かげやまさとみ
影山里実

「タミフル」は、インフルエ
ンザの特効薬で、昨年来大きく
報道されているため、名前はご
存じの方が多いと思います。報
道の内容は、新型インフルエ
ンザにも効くと考えられ、都道
府県でも備蓄が進行中だが、な
かなか進まない。主に10歳台
の患者に、タミフル投与後の異
常行動の報告が相次いでいる。
の2点に要約されるようです。

職業柄、に関して「本当の
ところ、どうなの？」とよく質
問されますが、一介の臨床医で
ある私には何ともお答えできま
せん。私自身も厚生労働省や小
児科学会の正式な見解を、首を
長くして待っている状態です。
現時点で分かっている事柄を、
弱冠の独断と偏見も混ぜつつお
話します。

医学雑誌を読む限り、異常行

動の原因がタミフル単独と見え
る研究者はほとんど存在せず、
急激に発症したインフルエンザ
脳症など、ほかの可能性が高い
と考えられているようです。た
だ、100パーセント否定できない
ものだから、苦肉の策で「10歳
台の患者にはタミフル使用を控
えること」という勧告が出され
ました。報道では副作用の可能
性がかなり強調されがちですが、
タミフルの普及で、乳幼児のイ
ンフルエンザ重症化率が減った
と感じている小児科医が多いの
も事実です。

実際お子さんにタミフルを使
うかどうかは、お母さん方と相
談の上となります。参考までに、
私の一人娘（5歳）がインフル
エンザにかかった場合を想定し
てみます（娘はまだかかったこ
とはありません。もちろん毎年

予防接種はしていません）年齢的
にインフルエンザ脳症（1）
を合併する危険性は低くなりま
したが、初めてA型インフルエ
ンザを発症した時には念のため
タミフルをおうと考えていま
す。2回目以降は「新型インフ
ルエンザに備え本気でウイルス
と戦わせて抗体を高めておこう
（2）」と、あえてタミフル
は使わないつもりです。

また、タミフルと効き方がほ
ぼ同じ薬で、吸入して使うリレ
ンザ（5歳以上に適応）という
薬があります。今のところタミ
フルのような異常行動の報告は
ないため、この薬を名指しで希
望される方もいらっしやると予
想されます。しかし流通量自体
が少ないこと、安全が確立され
ていない面ではタミフルと大同
小異であり、「タミフルより安

全そつだから」という理由での
使用は疑問もあります。いずれ
にしても、まずは年内に予防接
種を確実に（小学生以下は2回
接種が推奨されています）行っ
つのが大原則だと考えられていま
す。



- 1 国内において年間、100人以上の子ど
もがインフルエンザ脳症で死亡する
と推定される。1〜3歳台（とくに
1歳台）での発症が多く、1歳未満の
乳児では、むしろ低いといわれる。
- 2 ちなみに、医学的根拠はまったくな
い。通常のインフルエンザに対する抗
体は新型インフルエンザには効かな
いと考えられ、だからこそ成人でも
重症化が恐れられている。
しかし、通常のインフルエンザ抗体す
らまったく持っていない状態ではよ
り重症化するのでは？と勝手に考
えている。